

平成 22 年 5 月 26 日
メディアスエフエム番組審議会事務局

メディアスエフエム第 17 回番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成 22 年 5 月 26 日（水）16 時 00 分から 17 時 15 分

2. 開催場所

知多メディアスネットワーク(株)3 階すいせん西会議室

3. 出席者 ※敬称略

委員) 紀藤 輝明、加藤 龍子、小島 幹子、寺島 賀子、早川 鉄三、林 繁八
以上 6 名

※ 近藤委員は欠席

事務局) 河井 貞一 (代表取締役常務)、山本 隆明 (コンテンツ部副部長)、
松山 崇臣 (コンテンツ部編成企画G)

4. 議事内容

(1) 年間重点実施事項

(2) 報告事項

① 4 月、5 月の活動報告

② 今後の予定

・・・以上事務局

(3) 活動報告、番組について審議・・・委員

5. 審議内容

○アニソン・デーについてのご意見

加藤委員/子供中心の企画であれば、アピタなど人の集まる場所で公開生放送を行い、リクエストをもらってそのまま曲をかけるなどの現場参加型の企画にすると良いのではないか。そうすれば親子で楽しめる企画にもより一層なると思う。

事務局/他局との差別化を図らなければいけないとも考えているので、今後は参加

をしていただきやすい企画となるよう検討を進めていきたい。

○プレゼンホールについてのご意見

加藤委員／週末に一般の方が遊びに来易い空間になると良い。そこでパーソナリティー養成講座の公開実習を行うなど、色々なこと仕掛けて行くと良いのではないか。

寺島委員／外から見ていると、メディアスが営業しているかどうか分からない。それが分かれば、通りがかりの人達が足を運んでくれる機会も増えると思う。

事務局／現在、人が集まる場所には出かけているが、いつか私たちのところにも来て欲しいと考えている。集客ができるという自信がもう少し付き、方策を検討した後は是非実施したい。

○名酒談義について

林委員／番組内で紹介しているお酒とツマミのレシピの内容は大変充実しているので、本にして全国的に発表したら売れるのではないか。

○ラビットマンショーについて

林委員／Walk In 東海市のコーナーは、何を目的として放送しているのか分からない。情報として提供したいのか、それともただ歩いているだけなのか、コンセプトを明確にするべきではないか。今の内容より、土地に住む人物を紹介したり、隠れた名所や名産を紹介するといった内容にするのはどうか。いきなり収録を始めるのではなく、何か準備をしてから望むべき。

寺島委員／大変素朴で良いコーナーだと思う。情景も浮かぶし、知らない場所でも楽しく聴けている。それよりもスタッフの内輪ネタが耳障りに感じる。番組の盛り上げに必要なのは分かるが、馴れ合いは必要ないのではないか。それに比べれば、一人でシンプルかつ素朴なコーナーとして良い。個人的にはぶっつけの新鮮さが返って良いと感じるし、大げさなコンセプトは不要だとも思う。パーソナリティーの感覚任せのコーナーでよいのではないか。

加藤委員／歩きながら話をするというのは難しい。しかし、コーナーの中で一つだけでも落としどころがあって、狙いが明確であれば成り立つようにも思う。聞き手も東海市の住民とそれ以外では受け取り方に違いがあるのは仕方ないが、どちらに対しても言えることは、細やかな表現力が必要だ。

事務局／コーナーのマンネリ化は否めない。メディアスエフエムでは珍しい、パー

ソナリティー自身が外に出て行く、という親近感を狙った企画だった。リスナーに共感してもらった部分が減ってきているということなので、しっかりとしたコンセプトを設けることは難しいかもしれないが、何か新しいものを取り入れるように検討したい。

次回開催は平成 22 年 7 月 28 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 松山 崇臣